

基礎看護学臨地実習Ⅱ

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：医療機関で療養生活を送る患者を担当し、基本的な欲求に基づく生活援助を中心に看護過程を展開する。生活援助における基礎看護技術の一部を安全・安楽に実践するとともに、ケアの説明と同意を得るためのコミュニケーションスキル、看護ケアの実践的方法を学ぶ。以上により、看護の対象となる患者とその家族の特性および看護の必要性についての理解を深め、今後の学修のモチベーションを高める。

■**到達目標**：①ヘンダーソンの看護理論を用いて看護過程を展開し、受け持ち患者の日常生活を援助する。
②看護実践における倫理的行動の重要性を理解し、安全で責任ある行動をとる。
③上記2つの目標の達成にむけた過程を通して自己の学修課題を明確にする。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎大野 夏代・定廣 和香子・樋之津 淳子・古都 昌子・田中 広美・檜山 明子・石引 かすみ・柏倉 大作・近藤 圭子・田仲 里江・御厩 美登里・大友 舞・渋谷 友紀・中田 亜由美・星 幸江

■**授業計画・内容**：

別途配布する「基礎看護学臨地実習Ⅱ要項」に基づいて、オリエンテーションを行う。

実習時期：5月22日～6月2日

実習施設：市立札幌病院、手稲溪仁会病院

■**教科書**：なし

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：実習評価表にもとづき、到達目標の達成度を評価基準として、下記のように評価します。ただし、2/3以上の出席を満たさない場合は評価の対象としません。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③		
実習内容・記録	◎	◎	◎	} 到達目標の達成度	76
レポート	○	◎	◎		24
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：1年次の必修単位をすべて修得していることを期待します。既修の知識・技術を統合できるようレディネスを十分整えて実習に臨みましょう。患者様やご家族から学ばせて頂くという看護学生としての基本的な態度と心構えを忘れないこと。対象や場に応じた挨拶や言葉遣い、実習にふさわしい身だしなみ、自己の健康管理も大切です。